



尾張北部生態系ネットワーク学習会に参加

日時：12月4日(木)14:00～16:30

場所：犬山里山学センター(犬山市大字塔野地字大畔 364-2)

1. 内容 前回4市(犬山市、小牧市、春日井市、瀬戸市)の自然、歴史、文化、産業、流通と主要拠点を書き出して各市の特性の把握を行った。今回は、それを踏まえて今後の検討テーマについて意見交換を行った。

2. 意見概要

・県作成生物多様性ポテンシャルマップとの関係では独自指標生物のポテンシャルマップも考えられる。

・地域戦略は地元で作る。そのための現状把握を学習会で行っている。

・学習会→シンポジウム開催→ネットワーク拡大をめざす。

・尾張北部の地政学的特性として生活圏と山地圏との境界が複雑であり接線が長いいため多様な歴史、文化、生物相がある。

・森林税の例に見られるように、地元意見も踏まえた使い方ができ、地元・行政が連携して改善できるような仕組みを作らなければならない。

・カナダのパブリックワークス(グラウンドワークと似たような仕組み)で地域価値向上を目指すことが協議会の方向と思う。行政事務の外注により行政組織の縮小にもなる。

・魅力的なシンポジウムを企画してネットワークの拡大、認知につなげていきたい。